

経営比較分析表（令和元年度決算）

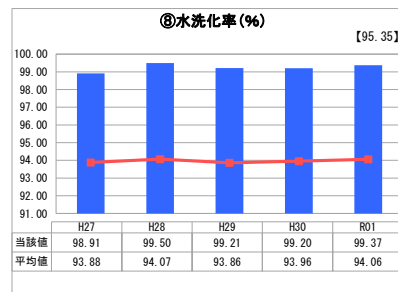
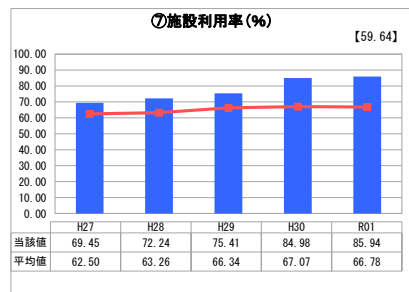
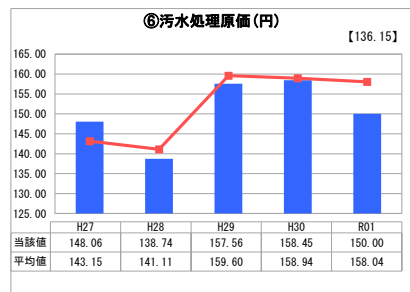
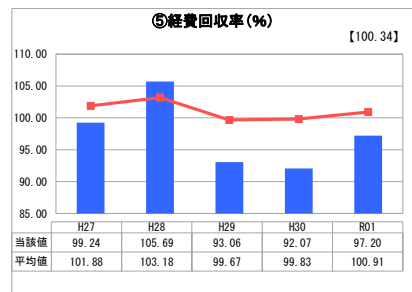
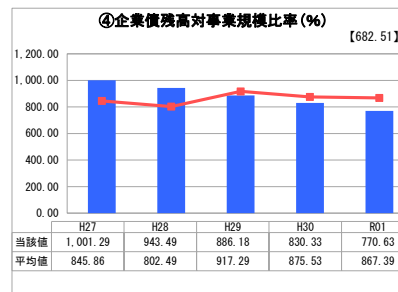
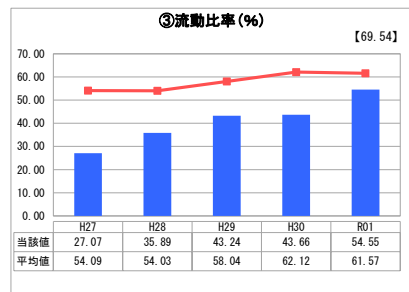
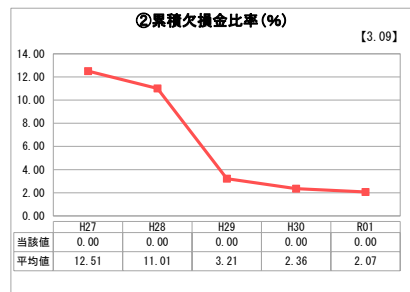
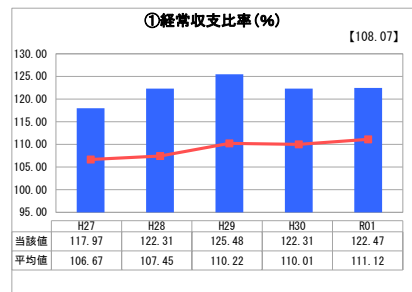
山梨県 甲府市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.90	83.06	58.80	2,431

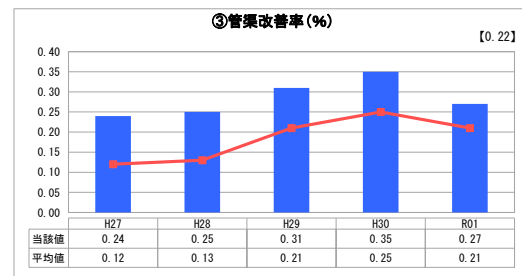
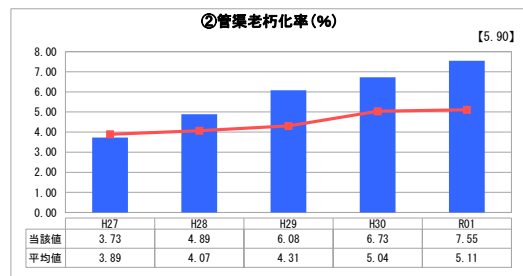
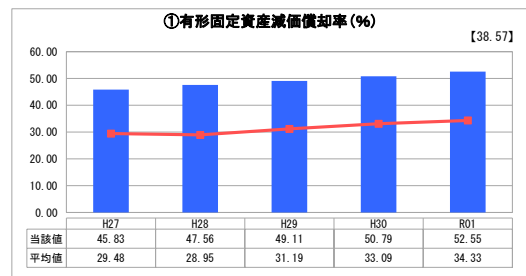
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,880	212.47	884.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
155,464	31.68	4,907.32

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、前年度に続き、100%を維持しており、下水道使用料や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用を賄っている。流動比率は、企業債の償還額が減少する中で、改善傾向にあるものの、類似団体に比べては、依然として低い数値となっている。なお、短期的な債務に対しては、下水道使用料収入や一般会計繰入金・国庫補助金等で賄うことができ、支払能力は確保できている。企業債残高対事業規模比率は、企業債の償還が進んでいることから、改善している。類似団体の平均に比べても低い数値となっている。経費回収率の増加及び汚水処理原価の減少要因は、前年度に比較し、汚水処理費が減少したことによる。施設利用率は、類似団体の平均を上回っている。施設の老朽化が進んでいるため、今後も計画的な施設更新を行っていく。水洗化率は、類似団体の平均値を上回っている。今後も効果的な普及活動を進め、水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率は、年々上昇しており、類似団体の平均を上回っている。管渠改善率は、施設の長寿命化対策に取り組んでいることなどにより、類似団体の平均より高い数値となっている。今後においても、アセットマネジメントの手法を取り入れた計画に基づき、施設の適切な維持管理を行うとともに、更新投資の最適化を図り、施設や管渠の改築を効果的に進めていく。

全体総括

本市の下水道事業は、人口減少や節水機器の普及等に伴う水需要の減少傾向が継続する厳しい経営環境のなか、経営の健全化に努めてきた。今後も、平成29年度に策定した「甲府市上下水道事業経営戦略」における事業を推進する中で、老朽化する施設の更新・強靱化等を図るとともに、中・長期視点に立った効率的・安定的な事業経営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。